

(様式 1-3)

福島県 (田村市) 帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成 29 年 5 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	28	事業名	古道体育館大規模改修事業	事業番号	(1)-15-3
交付団体	田村市	事業実施主体 (直接/間接)	直接		
総交付対象事業費	155,618 (千円)	全体事業費	155,618 (千円)		
帰還環境整備に関する目標					
田村市都路町における都路町民対象の各種大会の開催、レクリエーションやスポーツ振興の拠点として、その中心的な施設である古道体育館を改修し、地区住民のスポーツ交流、各種文化行事の開催の場として、安心安全な施設の確保に努め、住民の帰還促進を図る。					
事業概要					
住民の生活環境として不可欠な古道体育館 (建築年月日: 昭和 51 年 12 月 12 日、面積: 1250.4 m <sup>2</sup> ) の屋内給排水設備や電源設備が、震災の影響により長期間使用できなかったことによる老朽化が進んでいる。そこで都路町住民の帰還を促進するため、平成 29 年度に耐震化工事と伴に、老朽化がみられる屋内給排水設備や電源設備等の大規模改修を行う。					
当面の事業概要					
＜平成 29 年度＞ ・ 古道体育館 大規模改修工事 ・ 古道体育館 工事監理業務委託					
地域の帰還環境整備との関係					
避難指示解除準備区域および緊急時避難準備区域における避難指示解除後も、都路住民の多くが未だ帰還していない状況で、体育祭や行政区対抗スポーツ大会等住民が一堂に会する機会に支障をきたしているほか、古道体育館を拠点として活動していたスポーツ少年団もその存続が危ぶまれている。そのため、長期間使用できなかったことにより老朽化した古道体育館の大規模改修を行うことで、体育館を利用した各種スポーツ事業の活性化が図られ、それらスポーツ事業を通じて地区住民の結束力強化が期待できるほか、スポーツ少年団に加盟している児童生徒の家庭の帰還促進にもつながることができる。					
関連する事業の概要					

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	